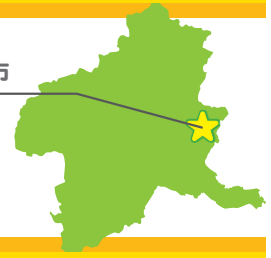


働きやすい環境と、地場産食品を加工販売

みどり市とまとクラブ

みどり市



試行錯誤し、現在のパウンドケーキは生まれた

●活動内容

地元の女性12名で、みどり市の農林業センター内にある調理室で、加工や調理をする。取扱商品は、ドライトマトを使ったパウンドケーキやトマトソース、ジャムなどで、地元の直売所などへ出荷している。

無添加でアレルギーにも対応しているため、高コストにはなるが、トマトの風味を活かすことと、食べる人の健康をととても大切にしている。コストダウンのみに捕らわれていては、食の安全確保は難しいと、女性メンバーは考えている。

また、加工品の完売を目指し、年間を通じて販路の確保に努力している。今後は、農業支援にも関わってきたいとのこと。

●事業を始めたきっかけ

平成18年の市町村合併により、みどり市が誕生。それを機に、特産品で地元をPRしようと事業を開始する。

地場産のトマトを使用し、添加物を極力使わない食品加工、調理、販売をしている。粉糖やバター的配合など試行錯誤を重ね、トマトの旨みを凝縮したドライトマトを使用したことで、現在のパウンドケーキにたどり着いた。

現代表の根岸千春さん(61)の本業は、バラの栽培農

家。食育アドバイザーの資格を持ち、日頃から食生活と健康について強い関心を持っている。地場産品を用いて、自分の知識を地域の健康づくりに役立てたいと思い、参加した。「子育て中の母親やお子さんに、トマト本来の美味しさを知って欲しい」との、熱い思いがやる気の源である。



〈やりがい・楽しみ〉

根岸さんは「トマトの力は想像以上にすごいです。加工品を作っていると、手肌が白くなってくる。これはもしかしたら化粧品にも応用できるかもしれません」と、熱く語る。

また、メンバーは全て60代の女性。子どもたちから手が離れ、時間に余裕のでくる世代である。商品開発は立ち仕事中心で体力的にはハードだが、それが逆に健康増進に役立っているようで、「高齢者」という言葉が当てはまらないほど、皆さん若くて元気。メンバーは地域の食育に貢献しながら、自身の活力も得ている。

基礎データ

☎0277-76-6933

根岸ばら園(代表:根岸千春)

事業開始時期/平成19年

主な活動/トマトを使用した加工品の製造、販売

人数・年齢/14名 平均60代後半女性

実施主体/みどり市とまとクラブ

総合的支援

健康づくり
介護予防

安心・安心な
生活環境

生涯学習
生涯スポーツ

社会参加
社会貢献

地域包括
ケアシステム

就業・就労